

平成 25 年度 第 1 回一宮市子ども読書活動推進懇話会 会議録(要旨)

- 1 開催日時 平成 25 年 4 月 24 日 (水) 午後 2 時～午後 3 時 10 分
- 2 開催場所 中央図書館 7 階 講座室
- 3 出席者 推進懇話会委員 7 名 (欠席 3 名)
事務局 7 名
- 4 議 題
 - (1) 「子ども読書のまち宣言」(素案)について
 - (2) その他
- 5 開会(事務局が開会を宣言)
図書館長挨拶
懇話会会長挨拶
・議事の進行は、一宮市子ども読書活動推進懇話会設置要綱第 5 条に基づき、子ども読書活動推進懇話会会長が務めた。
- 6 会議録(要旨)
(会長) 議題 1 について審議を願います。
(事務局)「子ども読書のまち宣言」についての経緯を説明
平成 25 年 2 月に図書館長と学校教育課長の連名で、市内公立小中学校 61 校および私立大成中学校の全児童・生徒を対象に「い・ち・の・み・や」の各 5 文字を頭にした宣言文案を募っていただき、それを基に 3 月 25 日、市内小中学校 62 校の代表者 62 人に尾張一宮駅前ビル 7 階シビックホールに集まってもらい、宣言文案策定を目的としたワークショップ「子ども読書サミット」を開催。
「子ども読書のまち宣言」の素案について、5 つの宣言文は、「子ども読書サミット」で出された子どもたちの意見をなるべく尊重して、子どもたちの文案のうち、2 つの文を組みあわせて宣言文の案としてまとめた。
(委員) 「子ども読書のまち宣言」は、具体的にどのような活用方法か。
(事務局) 図書館カレンダーに印刷して啓発するとか、ポスターを募集して優秀な作品を展示するなどの事業を展開していく必要がある。
(委員) 公共図書館と学校の子どもたちがいっしょになって出来上がった、すてきな宣言なのでどんどん活用していけたらいい。
読書は知識だけでなく、生きていくうえでの知恵を自然と培っていくものだと思うので、宣言文に「知恵」という言葉があるといい。
(委員) 宣言文は、子どもたちの意見をよくまとめている。
(委員) 「子ども読書サミット」に参加して、子どもたちが「自分と読書」、「みんなと読書」ということを一生懸命考えて活発な発言があった。
図書館と学校と子どもたちが、読書活動を豊かにしていけるような話し合

いができる場があったらいいと思う。

(委員) 「子ども読書サミット」の子どもたちの活気と、携わられた方々の熱い気持ちが伝わってきて、宣言文に一段と親しみが持てた。

(委員) 今後も「子ども読書サミット」を続けていくことに賛成である。本に親しみながら、子どもたちの発表の場があるのはいいことである。

(会長) 今日、ここで宣言文について決定するのは難しいので、意見を一度持ち帰って、次回の懇話会で話し合うということで如何か。

(委員) 了。

(会長) 以上をもちまして懇話会を終了します。